

# 大雪山の火山活動解説資料（平成 23 年 7 月）

札幌管区気象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

## ○ 活動概況

### ・噴気などの表面現象の状況（図 1-①、図 2）

旭岳地獄谷爆裂火口の噴気の高さは火口上 100m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。

### ・地震及び微動の発生状況（図 1-②）

今期間発生した火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

29 日 16 時 13 分頃、旭岳付近の浅い所を震源とするマグニチュード 2.2<sup>1)</sup> の地震が発生しました。この地震により、旭岳温泉や天人峡温泉などで揺れを感じたという報告がありました。

なお、この地震の発生前後で火山活動に特段の変化は認められませんでした。

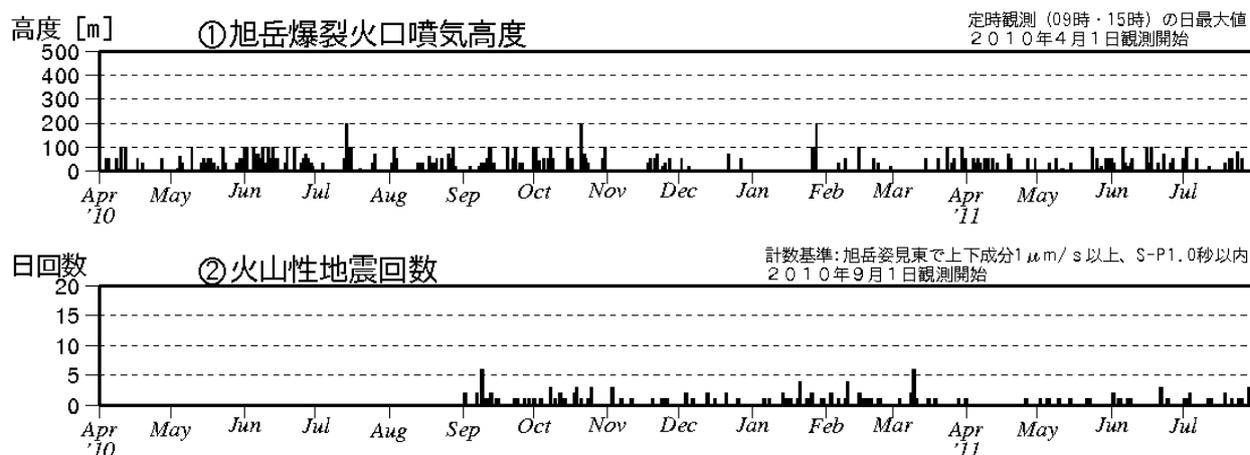


図 1 大雪山 火山活動経過図（2010 年 4 月～2011 年 7 月）

1) マグニチュードは、地震の規模を示します。資料中のマグニチュードは暫定値で、後日変更することがあります（広域地震観測網による）。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>) や気象庁のホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 8 月分）は平成 23 年 9 月 8 日に発表する予定です。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。



図2 大雪山 旭岳西側斜面の状況 (7月22日、忠別湖東遠望カメラによる)  
白丸内は旭岳地獄谷爆裂火口の噴気

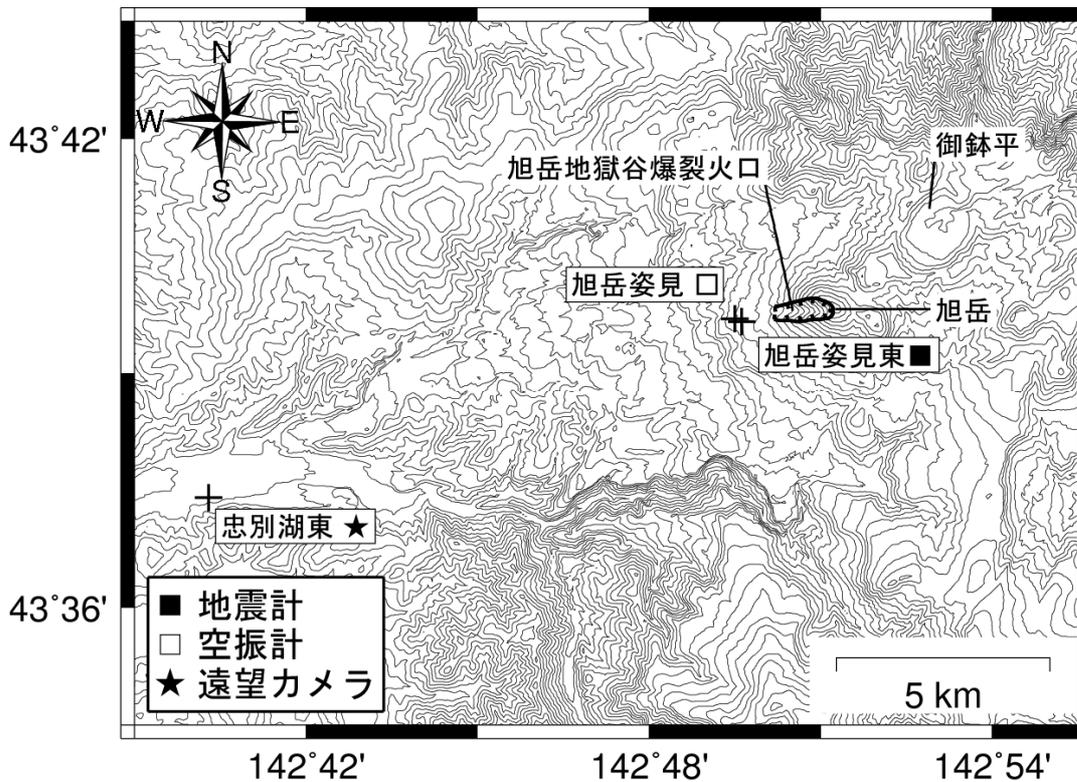


図3 大雪山 観測点配置図  
+は観測点の位置を示す